



未来

今年は2月3日が立春、つまり暦の上では春が始まる日です。まだ寒さは厳しいものの、春の訪れを感じる日も少しずつ増えてきます。今年度も残すところ2か月を切り、春からの、そしてもっと先のことに思いをはせることが多くなる時期かもしれません。今月は未来をテーマに本を紹介します。

参考：『理科年表 2025 机上版』国立天文台/編 丸善出版

『僕らの未来が変わる お金と生き方の教室』

池上彰/監修 Gakken 330ほ

「お金を学ぶと、お金より大切なものも見えてくる。」お金のことや自分の生き方について金融教育で触れるテーマを幅広く網羅。人生をどう歩み、社会をどう変えていきたいのかを問う一冊です。人生100年時代と言われるようになった現在、急速に変化していく環境下で、進むべき道を示してくれる「新時代の教養」シリーズ。

お金について深く学び、自分の心と対話すれば未来は大きく広がるはず！

『未来のミライ』

細田守/著 KADOKAWA 913ほ

幼稚園に通う甘えん坊のくんちゃんは、生まれたばかりの妹のミライちゃんがお母さん、お父さんを独占してしまうので「好きくないの」が口ぐせになっています。そんなくんちゃんがタイムスリップして過去や未来の家族に出会い、それぞれと時間を過ごすうちに自分の存在の意味に気づいていきます。「あのとき、こうしたから」、そんなちょっとした偶然の積み重ねが「未来」へと続いていくのかもしれない。

こちらもおすすめ

『人間の未来 AIの未来』

山中伸弥 羽生善治/著
 講談社
 491や

#AI #人工知能

『人類、宇宙に住む』

実現への3つのステップ
 ミチオ・カク/著 斉藤 隆央/訳
 NHK出版 538か

#宇宙 #テクノロジー

『未来の手紙』

椰月美智子/著
 光文社
 913や

#短編集 #学校生活

本にまつわる記念日

2月12日は「菜の花忌」

3年生国語の教科書に掲載されている『竜馬がゆく 新装版』（文藝春秋）の作者・司馬遼太郎（しばりょうたろう 1923-1996）の命日です。彼は歴史上の出来事や人物を描いた小説のほか随筆や紀行文も多数執筆し、数々の賞を受賞しました。生前好きだった菜の花や、長編小説『菜の花の沖』（文藝春秋）にちなみ、命日の2月12日は「菜の花忌」と呼ばれます。

参考：司馬遼太郎記念館、菜の花忌について

<https://www.shibazaidan.or.jp/nanohana/> (参照日 2024.12.23)



お知らせ

開催中！

●先生**推し**本スタンプラリー

■期間：1/27~3/7

先生推し本コーナーの本を借りると希望の先生からサインをもらえます！

1・2年生…5冊、3年生…3冊

推し本コーナーは図書館入口カウンター横にあります。ぜひ先生に読んだ感想を伝えてみてくださいね。

●頒布会（本の**リユース**市）

■期間：2/3~2/8（学習作品展期間）

買替などで古くなった本を頒布します。ご自由に何冊でももらってください。

場所は格技室です。

開館カレンダー ★開館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
	★	★	★	★	★	★
9	10	11	12	13	14	15
	★		★	★	★	
16	17	18	19	20	21	22
	★	★	★	★	★	
23	24	25	26	27	28	
		★	★	★	★	

3年生の最終貸出日 2/28。借りた本は3/7までに返却してください。

